



《白磁御所車香炉》(近現代)



《白磁鼠南瓜置物》(近代)



《染付菊彫蓋物》(幕末)

# 立体と平面にあらわれた技展

セレクション・コレクション

佐世保市博物館島瀬美術センター 収蔵品展

永和九年歲在癸丑暮春之初會于會稽山陰之蘭亭脩禊事也羣賢畢至少長咸集此地有崇山峻嶺茂林脩竹又有清流激湍映帶左右引以為流觴曲水列坐其次雖無絲竹管絃之盛一觴一詠亦足以暢叙幽情是日也天朗氣清惠風和暢仰觀宇宙之大俯察品類之盛所以遊目騁懷足以極視聽之娛信可樂也夫人之相與俯仰一世或取諸懷抱悟言一室之內或因寄所託放浪形骸之外雖趣舍萬殊靜躁不同當其欣於所遇暫得於己快然自足不知老之將至及其所之既倦情隨事遷感慨係之矣向之所欣俛仰之間以為陳迹猶不能不以之興懷况脩短隨化終期於盡古人云死生亦大矣豈不痛哉每覽昔人興感之由若合一契未嘗不臨文嗟悼不能喻之於懷固知一死生為虛誕齊彭殤為妄作後之視今亦猶今之視昔可悲夫故列叙時人錄其所述雖世殊事異所以興懷其致一也後之攬者亦將有感於斯文

林守傳史誌

安永龍峰《蘭亭序》(昭和)

2025.02.22(土)~03.09(日)

10:00~18:00(最終入館17:30まで)

佐世保市博物館島瀬美術センター2階展示室



このたび、佐世保市博物館島瀬美術センターにて「セレクション・コレクション」立体と平面にあらわれた技展」を開催する運びとなりました。

当館では、令和3年（2021年）以来、収集資料の調査研究を継続して進めています。収集資料は絵画・工芸品・書からなる美術資料と、考古遺物・古文書・民具からなる歴史資料、当館の前身である佐世保市文化科学館時代（1963～83年）の理化学資料等からなり、総計約8,000点を数えます。逐次資料情報の追記修正をおこない、その成果を例年の収藏品展開催を通じて公表してまいりました。

そこで本展の開催を通じて当館収蔵の油彩画、水彩画、書といった平面作品と三川内焼、彫刻、民俗資料など立体作品を展示し、異なる素材で発揮された技の数々を市民の皆さまに向けて紹介いたします。

会期 令和7年2月22日(土)～3月9日(日)

※休館日 毎週火曜日

【開館時間】 10時から18時

※最終入館 17時30分まで

【会場】 佐世保市博物館島瀬美術センター

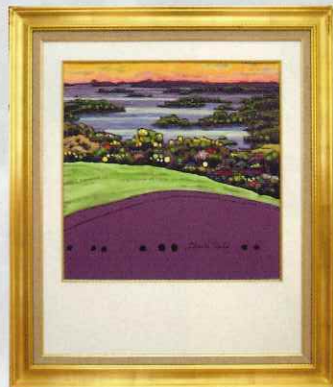
2階展示室

【観覧料】 無料

しまび  
ホームページ



吉田輝貞  
《雪景色》  
(1977年 水彩)



馬場 忍  
《九十九島を望む》  
(2004年 水彩)



松永 勝《朝の陽》  
(1980年代)



西村大世  
《ペルシャ猫》  
(1963年頃 水彩)



大石 博《三つの水平線》  
(現代 アクリル) ※新収藏品※



古賀亜十夫《『ガリバー旅行記』挿絵原画》  
(1972年頃 水彩) ※新収藏品※